第3章
「D L A
A 〈話す
<u></u> د
診

<u>名前 (男・女) 学年(所属) 年 月 日</u>

■基礎タスク■			
評価項目		評価	
■「教室」カード(1)			
①「ここはどこですか」 (場所の認識	哉)		
②「この部屋に何がありますか」(モノの存在	E)		
③「先生の机はありますか」 (モノの所名	E)		
④「では、先生のいすは?」 (ある/いる	るの選択)		
⑤「先生はいますか」 (動詞の否定	E)		
⑥「では、子どもは?」 (動詞の否定	E)		
⑦「ペンはどこにありますか」 (存在の位置	置)		
⑧「時計はありますか」 (ある/いる	3の選択)		
⑨「今、何時だと思いますか」 (時刻) * 質	学習済みの子どものみ評価		
■「スポーツ」カード(2)			
①「スポーツ(運動)が好きですか」(好き・	嫌い)		
②「どんなスポーツ(運動)ができますか」	(可能表現の理解)		
③「(スポーツ名)は?」(可能表現の選択)			
④「(スポーツ名)をしたことがありますか」	(過去の経験)		
⑤「○○ と ○○ と、どちらが好きですか」(♪	比較)		
■「日課<起床><登校><就寝>」カー	-ド (3)		
①「今朝、何時に起きましたか」(時刻、過去	の動作)		
②「それから何をしましたか」(過去の動作)			
③「いつも何時ごろ寝ますか」(習慣的動作)			
④「家に帰ってから、いつもどんなことをしま 寝るまでのことを話してください」	ますか。 (継起的動作)		
評価の目安		評価結果	
□正答:質問の意味を理解し、返答が自然	で適切	/18	%
 □無回答:質問が理解できない、返答が7 	適切、無回答	(/ 途中でや	%) めたり.
※文法上、語彙上の誤用があっても、ここでし p.35の質的評価の「文法的正確度」や「語動		質問数が異なった場合	

<u>名前 (男・女)</u> 学年(所属)	年	月	日
------------------------	---	---	---

■対話タスク ■			
評価項目	評価		
	□正答 □無回答		
■「先生に質問」カード(4)A,B			
(4)A ① 先生に許可を求める			
(4)B ① 友だちに依頼する			
■「新しい先生」カード(5)			
① 自己紹介をする			
② 質問1			
③ 質問2			
■「友達を誘う」カード(6)			
① 会話を切り出す			
② 誘う			
③ 時間、場所の取り決め			
④ 会話をしめくくる			
■「キャッチボール事件」カード(7)			
① 起こったこと/してしまったことを伝える			
②謝る			

評価の目安	評価結果			
□正答:質問の意味を理解し、返答が自然で適切		/11	%	
□無回答:質問が理解できない、返答が不適切、無回答	,		0/	
※文法上、語彙上の誤用があっても、ここでは減点とはしません。 p.35の質的評価の「文法的正確度」や「語彙」で評価します。	(/ 途中でやめた場	% 場合)

<u>名前 (男・女) 学年(所属) 年 月 日</u>

■認知タスク■			
評価項目	採点/評価		
	□正答 □無回答 □に☑		
■「お話」カード (8)			
① 話の展開1(はじめの部分)			
② 話の展開2			
③ 話の展開3(終わりの部分)			
■「消防車」カード (9)			
① 消防車・はしご車の働き・役目を話す			
② 2つを比べて、働きについて共通点・相違点を説明する			
■「キャッチボール事件の報告」カード(10)			
① 事件の前(何をしていたか)			
② 事件(何が起こったか)			
③ 対処(謝ったこと)			
■「環境問題」カード(11)			
① 地球が泣いている理由を述べる			
② 対策(問題解決)の意見を述べる			
③ 温暖化の要因について説明する *中学生のみ評価対象			
■「地震」カード (12)			
① 地震の経験について述べる			
② 緊急事態の対策について意見を述べる			
③ 地震の仕組みについて説明する *中学生のみ評価対象			